

<p>当院は下記研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。</p>	
研究番号	21 - 8
研究課題名	多施設共通データベースを用いた脳卒中急性期患者の病態解明に関する疫学研究
当院の研究責任者(所属)	有廣 昇司(脳血管内科)
他の研究機関及び各施設の 研究責任者	九州大学大学院 医学研究院病態機能内科学・教授 北園 孝成
研究の目的	<p>共通の診断基準や治療方針のもとに専門医療を提供できる脳卒中専門医を揃えた対象施設による多施設共同の脳卒中データベースを構築し、急性期脳卒中患者の発症登録による発症病態分析と要因解明を継続的に行うとともに、治療成果の評価につながる研究を行い、本邦における脳卒中医療の基盤となるエビデンスを構築することを目的とする。また、脳卒中の発症や予後に関連する遺伝的要因や、治療効果に影響を及ぼす薬剤感受性要因等について明らかにすることで、個別化医療の確立に寄与する。</p>
調査データの該当期間	許可日 ~ 令和7年 3月 31日
実施期間	許可日 ~ 令和7年 3月 31日
研究の方法(対象となる方)	<p>本研究では、以下2つの多施設共通の脳卒中データベースを構築する。</p> <p>(1) 新規症例登録による前向き疫学研究用脳卒中データベース</p> <p>(2) 既存資料を用いた後向き疫学研究用脳卒中データベース</p> <p>前向きデータベースでは、同意取得者を登録し、研究用血漿・DNA、診療要約、退院時生活の質調査、予後調査、診療行為情報を管理する。</p> <p>後向きデータベースでは、既存試料を用いて、診療要約、診療行為情報を管理する。</p> <p>得られたデータを用いて、脳卒中診療の実態、脳卒中の発症や入院後経過、長期予後と関連する因子およびその影響を明らかにする。</p>
試料/情報の他機関への提供	あり
個人情報の取り扱い	<p>人体取得試料・情報</p> <p>■匿名化する</p> <p><input type="checkbox"/> 対応表： ■九大内に保有する</p> <p><input type="checkbox"/> 個人情報管理責任者所属・職・氏名： メディカルインフォメーションセンター・教授・中島直樹 医学研究院病態機能内科学・教授・北園孝成</p> <p>・保管期間：■試料 5年 ■情報 10年</p>

<p>本研究の資金源</p>	<p>■公的資金（■文科省科研費 ■厚労省科研費 ■AMED） ■公的資金以外 金額 20,000,000 円 （期間：承認日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日 ）</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>担当者：独立行政法人労働健康安全機構 九州労災病院 脳血管内科部長 有廣 昇司 連絡先：〔TEL〕 093-471-1121（代表）（平日 9:00～17:00）</p>
<p>備考</p>	<p>事務局：九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学分野 福岡脳卒中データベース研究事務局 担当者 九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学分野 准教授 松尾 龍 連絡先：〔TEL〕 092-642-5260（代表）（平日 9:00～17:00） 〔FAX〕 092-642-5271 メールアドレス：matsuo.ryu.838@m.kyushu-u.ac.jp</p>